


# 神戸から淀江へ！自然満喫キャンプ

みなさま、はじめまして。神戸のオーダーメイド学習塾「セカンドホーム」代表の生田瞳と申します。この夏、淀江の宿今津田中家にて2泊3日のサマーキャンプを実施させていただきました。参加したのは初めて親元を離れてのお泊り行事に挑戦した小2から、なんでもござれの中3まで。個性豊かなセカホっ子たちが今津田中家を城に、学びと笑顔あふれる充実の3日間を過ごしました。今月はセカホが紙面をジャック！セカホっ子たちのみずみずしい言葉で最高の3日間を振り返ります。

## 淀江の宿 今津田中家 瓦版

第9号

2023.12 発行

### 安心してできる宿で楽しかったサマーキャンプ

サマーキャンプで私が楽しかったことをしようかいます。

一日目はみんなで集合し、淀江の民宿にバスで向かいました。民宿に入った私はおどろきました。かべが木でできていて、とても安心できる雰囲気だったからです。しかも、しんしんのベッドが工夫して置かれていて、見ていて楽しい気分になれました。居間には本があつてリラクセスできました。夜は、庭でバーベキューを楽しみました。夕日がとてもきれいでみんなで夕日に向かって走りました。

二日目はシャワークライミングをしたり、海水をくんで、塩を作ったりしました。大山おこわがとてもおいしかったです。夕飯はカレーでみんな仲良く食べました。三日目は、大豆でとうふ、油、おかし作りをしました。経営ゲームもして三日間とても楽しかったです。(小5 せとん)

### ウマイ飯ヲ食ラウ

鳥取で過ごした3日間の中で、特に思いに残ったことと言えばやはり食事だろうか。

鳥取で食べたすべてのごはんの中で私が一番好きだったのはBBQだ。BBQといえば肉だが、今回のBBQの主役はなんと魚介。とても大きな白身魚と、私の拳と同じくらい大きな牡蠣を頂いた。野菜もお肉もあったが、私は魚介にしか目がいかなかった。魚は網で焼いたものにハーブソルトで、牡蠣はグリルで蒸し焼きにしてポン酢で。このポン酢は自家製らしく、甘みがあつて牡蠣によく合い、今まで食べた牡蠣の中で一番美味しかった。

この3日間で沢山のものを見て、作って、経験したが、やはり美味しいごはんがあることが幸せなんだなと実感した。来年もまた鳥取で美味しいご飯を食べたい。(中3 るか)

#### 1日目：8月6日(日)

08:15	三宮集合 *六甲道 8:00 集合もお選びいただけます
08:40	三宮バスターミナルより出発
12:00	米子駅到着～在来線にて、淀江まで
13:00	宿到着
13:30	昼食
15:00	ヤギのえさやりカヤック
17:00	夕食 BBQ:自家野菜収穫&漁港の魚介類～入浴・就寝

#### 2日目：8月7日(月)

06:30	起床
07:00	朝食・昼食準備&朝食:大山おこわ・海藻のすまし汁・漁港の魚介類
09:00	シャワークライミング～昼食:朝に準備した玄米おにぎり
13:00	水源水汲み体験 <small>天の真名井で唯一名水百選に選ばれている水源へ。夕食のかまどご飯用の水を汲みます</small>
15:00	海水で塩づくり
18:00	夕食準備&夕食:カレー(かまど体験、地元の子どもたちと交流) 入浴・就寝

#### 3日目：8月8日(火)

06:30	起床
07:00	朝食準備&朝食:かまどご飯・豚汁
09:00	大豆で豆腐・油・お菓子作り
11:00	経営ゲーム
12:00	昼食準備&昼食:これまでに作ったものと畑のものでささっと調理 経営ゲーム続き
15:00	宿出発～米子駅へ
16:15	米子駅よりバス出発
19:52	三宮バスターミナル到着・解散 *六甲道解散もお選びいただけます。

### オーダーメイド学習塾 SECOND HOME



“長い目で将来を見据えながら、目の前の一人に徹底的に寄り添う”がモットー。代表は公立中学校教諭を12年勤めた後、世界一周を敢行。地元神戸で座学だけに収まらない塾セカホを開校。



## 鳥取でカヤック



僕は鳥取の海で皆とカヤックに乗りました。今までカヤックは何度かしたことがあったのですが、それは海が穏やかなときで、今回の鳥取の海は台風が近づいて、波が高くなっていました。最初は転覆するかもと不安でした。実際に海にでると、カヤックが上下左右に激しく揺れてスリリングでしたが、とても楽しくて、不安なんて無くなっていました。その後はカヤック同士でぶつかってしまったり、意気込んでいた生田先生はニコニコ笑顔で転覆したりと様々な出来事がありました。

僕は、正直なところカヤックなんてオールでボートを漕ぐだけだと思っていましたが、今回のイベントでカヤックの楽しさが分かりました。次にカヤックをするときは、陸地から離れた所に行ったり、どうしても効率よく漕げるのかを勉強したいです。そして、ゆくゆくは、カヤックの達人になりたいです。(中2 いつき)

## シャワークライミング初体験!



私は、人生初のシャワークライミングを体験して感じたことが2つあります。1つ目は、大自然の川の中は街中の川の水と温度が全く違うということです。最初は冷たくて、なかなかなれなかったけれど、ずっと入っているうちにだんだん慣れて、肩くらいまでつかれるようになりました。山の水はここまで都会と違うんだと発見できて、感じられてとても楽しかったです。

2つ目は、自然の偉大さです。都会の川はあんまり深い場所がなくて、石も小さいものが多くて水もそこまで冷たいわけでもなくて安全です。けれど、山の川は自然が凄く広がっていて静かできれいな景色に囲まれています。だからこそ、体験できることが沢山ありました。人生初シャワークライミング体験が淀江でできて最高! 凄く楽しかったです。(中1 ののこ)

## はじめてのサマーキャンプ



ぼくは、今年の夏にはじめてサマーキャンプに行きました。家族とはなれてはじめて会うみんなと行きました。心のこもっているのは大豆のおかし作りです。さいしょに豆ふきを作ります。まず大豆をミキサーにかけて水を加えてにました。次にそれをふきんに入れてしぼりました。しぼったおからをクッキーみたいにやいたものを寒天の上において食べてすぐおいしいかったです。パリパリしていたところが気に入りました。

帰りのバスではぐっすり寝ていてあつというまに三宮に着いていました。来年はきんちょうしないのもっとみんなと楽しくしゃべったりしたいです。(小3 のぞみ)

## それぞれの思い出があふれ出す3日間

ヤギに、えさをあげました。とてもかわいかったです。ヤギのおちのソフトクリームがありましたので、たべました。あまかったです。うれしかったです。(小2 こはる)

二日目の夕飯は、みんなで作ったカレーでした。ぼくはお米を一からたきました。まず、火を起すのが大変でした。次に、火を点けたらお米を鉄なべに入れて、30分くらいたきます。そして、お米をたきながらうちわで火元をおおぎつつ外にできゅうけいします。一人でやるとけむりできけんなので、みんなでこいうたいでたいできました。さいごに、かまをてぶくろでもち上げてご飯をしゃもじでまぜてできあがりです。ご飯は、おこげがたくさんできあがっていました。味はとてもほくほくでおいしかったです。(小4 ゆうま)

今回こちらを書かせて頂くにあたって、子どもたちに作文を依頼しました。行事のたびに書かされていた作文が苦手だったという方、私も含め少なくないはずですが、けれど、セカホつ子たちはみんな二つ返事でさらさらっと書き上げてくれました。本当に楽しかったこと、心に刻まれたことは人に話したくなる。形として残しておきたくなる。そう思えば、筆が進むのはごく自然なことなのかもしれません。そんな貴重な体験あふれる3日間を、一から作り上げてくださった洋子さん。セカホつ子たちを笑顔で受け入れ力を貸してくださった淀江のみなさまに心より感謝しております。安心して挑戦できる環境に身を置けば、子どもたちは自然と成長していける。私の信念です。淀江というさらなるお家を手に入れたセカホつ子たち。そんな彼らの成長を、またみなさまにご覧いただけること、ワクワクしております。(生田瞳)

お得な特典たくさん!  
淀江の宿今津田中家  
会員募集

年会費  
2,000円

会員特典

- 毎月1回 瓦版など印刷物の郵送
- 毎月1回 各種割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米) ※11月以降 当宿にてお渡し



※瓦版は淀江の宿今津田中家でも配布しております。また SNS などでも瓦版情報を随時提供しますので、SNS (4面参照) もご登録ください。



# 餅つき体験・お米の販売

## お米の販売

2023年5月〜10月、霊峰大山に見守られ、大山・孝霊山から下りてくる清水を使い、海・山に囲まれた豊かな土壌を持つ田んぼで、農業一年生の淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子が、ありがたいご近所さん農業スペシャリストの山中さんご夫婦の助けを全面的に借りながら、集まってくださった皆さんと一緒に、こだわりの「はで掛け米（天日干し米）」を育みました。

11月中旬より、新米のきぬむすめともち米を販売しております。料金など詳しくはHPをご覧ください。



## 餅つきをしませんか？

こだわりの「はで掛け米」（天日干し米）のもち米・淀江の宿今津田中家に昔からあった木臼や杵を使って、12月中旬、また年末に餅つきを行う予定です。日程などはホームページでご案内します。ふるってご参加ください。また、つきたてのお餅の注文販売を行います。購入をご希望の方はご連絡ください。



※12月、1月は日替わり店長カフェをお休みします。「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります（7時〜21時）。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

# ウォリスのご紹介

淀江の宿今津田中家のオーナーの田中洋子が代表を務める株式会社ウォリスは、2006年7月7日に大阪で設立した会社です。

## IT活用・経営のサポート

田中洋子は、会計事務所に勤務していた設立前の期間も含めて25年余り、経営資源の少ない様々な業種の小企業・個人事業様500社以上にに関わり、各々の実情に合わせた効果的なIT活用支援や創業・経営実務・マーケティング企画・経営戦略立案・社員教育・キャリアコンサルティングなどの分野で経営支援を行い、また各自治体・商工団体・大学などでのセミナー・研修講師を行ってきました。

2020年Uターン後は、関西の企業のサポートを行うと共に、鳥取県商工会の専門家派遣、国が設置した無料の経営相談所「よるず支援拠点」の専門コーディネータなどの業務も行っております。よるず支援拠点では、他のコーディネータにもお繋ぎすることが出来ますので、お気軽にご活用ください。



## 経営ゲーム（BASG）

Business（経営）Administration（管理）Simulation（模擬体験）Game（ゲーム）

株式会社ウォリスでは、2018年に独自の経営ゲームを開発し、創業セミナー・企業研修・小中学生向けの起業家教育などで活用しています。

机の上でマグネットなどを使って「リアル経営体験」をしながら、経営を楽しく実践的に学べる「テーブルボードゲーム」です。

2023年12月3日（日）には、西部商工会産業支援センターで開催される創業セミナーで活用する予定です。

団体や個人での体験依頼などお気軽にお問い合わせください。



### ご自身の知識や体験を増やすツールとして

#### 起業をお考えの方

起業したら実際にどんなことが起こるのか先に体感してみたい。

#### 小企業・個人事業を 経営されている方

税理士任せで数字のことがわからない、経営知識やスキルを上げて実際の経営に生かしたい。

#### 経営者の 奥様・後継者様

経営について知識も経験も無くて不安で、実務に活かせる経営知識やスキルを身につけたい。

わかる。楽しむ。経営ゲーム。



### 教育ツールとして

#### スタッフ教育に

スタッフと経営者との意識のギャップに悩んでいる。経営者意識を持ったスタッフを育成したい。

#### 教育機関・創業スクールの 教材に

講義形式ではない学習スタイルを探している。創業希望者や学生に創業～経営の流れを体感させたい。

#### 顧問先や新規顧客の 呼び込みツールに

会計事務所などで顧問先や新規顧客を呼び込むための新たなセミナーや講座を探している。

# 連載「淀江プロジェクト」物語 [第八話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

## 第8話：冷たい雨の中、淀江プロジェクトスタート

**冷たい雨が降りしきる中、各地からのメンバーが大活躍！**

2018年12月23日(日)雨の降りしきる中、しょうきちこと野崎将太さんの掛け声の下、大阪・京都・鳥取県の浜村・米子などから集結した皆さんの力で、母屋の庭にある物置3つ、そして母屋の昔の台所(土間・物置)にある大量の荷物の数々を一気に片づけが進む。

★関西(大阪・奈良・神戸・京都)から  
野崎将太さん(当時 前田文化メンバー・現「タ」代表)  
サハラクミコさん

松尾隆志さん(「俺ロック」代表・奈良在住)  
ゆうママこと いはらえみさん(神戸在住・リノベ主婦)  
高矢喜晴さん・高矢麻子さん(京都在住)

★鳥取県鳥取市浜村町から  
宮原翔太郎さん(当時 パーリー建築・現「喫茶ミラクル」代表)

★米子から  
森田悟史さん(現 米子市市議会議員)  
河津優平さん(現 宇宙の片隅で常に朝 代表)

洋子の従兄で、鳥取県日野町根雨在住の杉本準一さんも立ち合って、豆炭炬燵や農機具など、今はあまり無い珍しいものや価値のある物などを振り分けてくださり、一部の物は日野町歴史民俗資料館で預かってくださることにした。



**同じ釜の飯を食う！寝食を共にするクリスマススイブ前夜**

夜は、サハラクミコさんが作ってくれた絶品の肉すいや蟹の寄せ鍋、そしてゆで蟹を母屋の和室&書齋で戴く。

洋子の高校の同級生やウオリスのスタッフなど5名も加わり、自己紹介から始めて、クリスマススイブ前夜の交流は盛り上がり、夜遅くまで続いた。眠たくなった人から順に、ゲストハウスに向けて改修が進んでいた離れ、そして母屋に分かれて就寝。



翌24日、皆が片付けを終えて帰り支度を始めた頃、ご近所の前田一夫さんが家の様子を見に来てくださった。

前田さんは洋子の父茂と同じ年、前田さんの奥様は洋子の母景子と同じ年で、母親同士は海外旅行などにも一緒に行くママ友だった。洋子の母景子が亡くなって父茂が一人暮らしになってから、そして父茂が亡くなって空き家になってからも、前田さんご夫妻はいつも田中家の様子を見に来て庭や畑の草刈り・墓の管理などもしてくださっていて、どこに何があるのか、洋子よりも把握しておられて、この日もいろいろと教えてくださった。

ご近所さんのありがたみもひしひしと感じながら、淀江プロジェクト第一弾を終えた洋子は大阪への帰路に就いた。

作者・田中 洋子

㈱ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてリターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第8話」



第九話に続く



淀江の宿  
今津田中家  
=IMAZU-TANAKA-YA=



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家

〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1

TEL : 0859-30-3889

www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント

お店のポイントが貯まる!

